

# 取扱説明書

## AM/FMラジオ ダブルカセットテープレコーダー

この度はAM/FMラジオ ダブルカセットテープレコーダーをご購入頂き、誠に有難う御座います。本製品の使用によるカセットテープの破損やデータの消失、その他直接的・間接的損害に関しては当社は一切の責任を負いかねます。ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

## 安全上のご注意 安全のため必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を「警告」、「注意」の2つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 絵記号の意味

- この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中に具体的な内容が書かれています。例)「分解禁止」を表す絵表示
- この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中に具体的な内容が書かれています。例)「電源プラグを抜く」を表す絵表示

### 警告

- 本体やACコードを傷つけたり分解しないでください。感電の原因となります。
- ぬれた手で使用しないでください。けがや感電の原因となります。
- 煙や異臭、異音が出たり、落下や破損をしたときは本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、使用しないでください。
- 子供だけで使用したり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。けがや感電の原因となります。
- 浴室・シャワー室など湿気の多い場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 分解・改造はしないでください。けがや感電の原因となります。

### 注意

- 旅行などで長期間お使いにならないときは、安全のため機能切替スイッチをOFFにし、ACコードもコンセントから抜いておいてください。
- 大音量で長時間続けて聞きすぎないでください。聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、時計や磁気カード等は本機のそばに置かないでください。
- はじめからボリュームを上げすぎないでください。突然大きな音が出て、耳を痛める原因となります。

## カセットテープについて

- 90分を超えるテープのご使用はおやめください。他のテープに比べて非常に薄いため、伸びたり巻き込まれやすくなります。
- 録音・再生共にノーマルテープをお使い下さい。クロム/ハイポジション/メタルテープは正しく再生できない場合がございます。
- 機械にテープが巻き込まれるのを防ぐ為、使用前に、テープのたるみを取り除いてください。
- カセットテープに録音した音源は、万が一の場合に備えダビングやデジタルデータとして保存をする等の対策をお勧めします。音源の消失・破損に関しては、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

下記の場合には、テープが絡んでしまう恐れがあるので、ご注意ください。

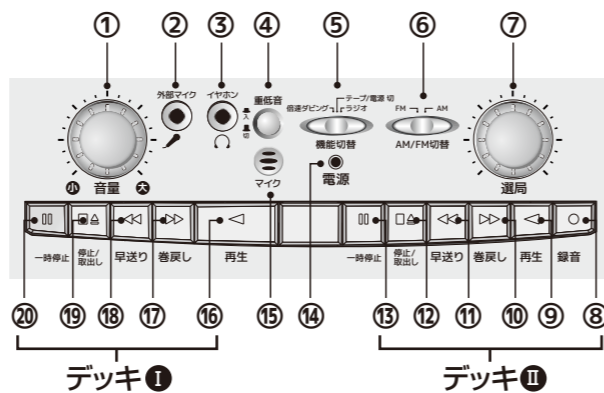
カセットテープが変形しているテープが変形し、裏打ちがあるテープの劣りや破損、自動巻き

### 録音した音声を守るには(誤消去防止)

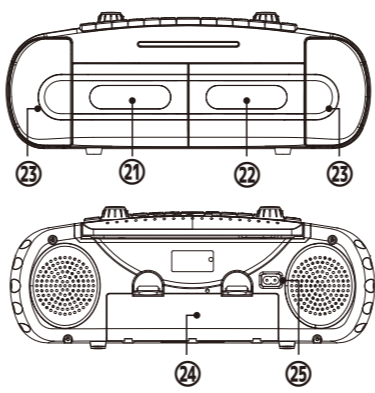
カセットテープには、大切に保存しておきたい録音を誤って消してしまわないように、誤消去防止用のツメが付いています。誤消去を防ぐには、ドライバーなどでツメを折って下さい。折ったツメの部分にセロハンテープを貼れば再び録音が可能です。万が一、誤消去してしまった場合の保証は致しかねますので、予めご了承ください。



## 各部の説明



- ① 音量ダイヤル
- ② 外部マイク端子
- ③ イヤホン端子
- ④ 重低音ボタン
- ⑤ 機能切替スイッチ
- ⑥ AM/FM切替スイッチ
- ⑦ 選局ダイヤル
- ⑧ 録音ボタン
- ⑨ 再生ボタン
- ⑩ 巻戻しボタン
- ⑪ 早送りボタン
- ⑫ 停止/取出しボタン
- ⑬ 一時停止ボタン
- ⑭ 電源LED
- ⑮ 内蔵マイク
- ⑯ 再生ボタン
- ⑰ 巻戻しボタン
- ⑱ 早送りボタン
- ⑲ 停止/取出しボタン
- ⑳ 一時停止ボタン
- ㉑ デッキⅠ
- ㉒ デッキⅡ
- ㉓ スピーカー
- ㉔ 電池フタ
- ㉕ AC端子



## 電源を選ぶ

### 乾電池で使用方法

- 電池フタを開けます。
- 別売りのアルカリ単1形乾電池を6個セットします。
- 電池フタを閉めます。

※乾電池が消耗してくると、再生や録音、ラジオ等が正常に動作しなくなります。その場合、乾電池を全て新しい物に取り替えてください。  
※乾電池の向きや種類を誤って装着しないで下さい。発熱や破裂の原因となります。

### 家庭用電源で使用方法

- 本体背面にあるAC端子に付属のACコードを接続し、ご家庭のコンセントに接続してください。

※必ず付属のACコードをご使用ください。それ以外のACコードを使用すると故障の原因となります。

## ラジオを聴く

- 機能切替スイッチを「ラジオ」に合わせます。
- AM/FM切替スイッチを「AM」又は「FM」に合わせます。

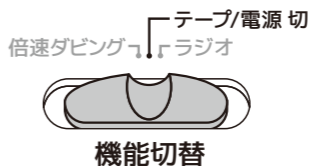


- FM ロッドアンテナを伸ばし、電波状態の良い向きに合わせます。
- AM 本体を受信状態の良い方向へ向けて下さい。
- 選局ダイヤルを回し、選局表示窓を確認しながら聴きたい局に合わせます。

※テレビやパソコン、電子レンジの近くでは、電磁波の影響を受けノイズが入る場合がございます。

## カセットテープを聴く ノーマルテープをお使い下さい

- 機能切替スイッチを「テープ/電源切」に合わせます。
- 停止/取出しボタンを押しカセットフタを開けます。



- カセットテープを入れ、カセットフタを閉めます。
- 再生ボタンを押すとカセットテープが再生されます。



操作	押すボタン
再生を一時停止	一時停止ボタンを押します。
再生を止める	停止/取出しボタンを押します。テープを最後まで巻き取ると、自動的に止まります。

操作	押すボタン
早送りする	早送りボタンを押します。
巻戻しする	巻戻しボタンを押します。

**注意** テープを巻き終えても、早送りボタン・巻戻しボタンは自動で戻りません。必ず停止ボタンを押し、早送りボタン・巻戻しボタンを解除してください。

## デッキⅠ⇒デッキⅡ 連続再生

- 機能切替スイッチを「テープ/電源切」に合わせます。
- デッキⅠとⅡの停止/取出しボタンを押しカセットフタを開けます。
- デッキⅠとⅡにカセットテープを入れます。
- デッキⅠの再生ボタンを押すと再生が始まります。
- デッキⅡの一時停止ボタンと再生ボタンを押すとデッキⅡはスタンバイ状態となります。
- デッキⅠの再生が停止すると、デッキⅡの再生が始まります。

## カセットテープに録音する デッキⅡのみ録音可能 ※デッキⅠは、対応していません。

### ラジオを録音する時

- 機能切替スイッチを「ラジオ」に合わせ、録音したい局を受信します。
- デッキⅡにカセットテープを入れます。
- デッキⅡの録音ボタンを押すと録音を開始します。

※録音をする際は、乾電池ではなくACコードのご使用をお勧めします。 ※本体の音量を変えても、録音される音の大きさは変わりません。

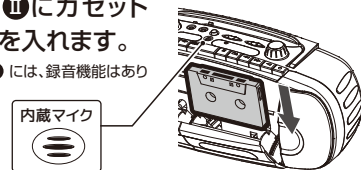
## カセットテープに録音する デッキⅡのみ録音可能 ※デッキⅠは、対応していません。

### 内蔵マイクから録音する時

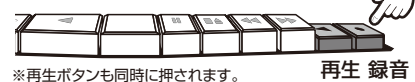
**1** 機能切替スイッチを「テープ/電源切」に合わせます。



**2** デッキⅡにカセットテープを入れます。  
※デッキⅠには、録音機能はありません。



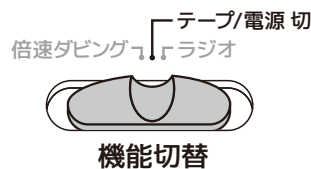
**3** デッキⅡの録音ボタンを押すと録音を開始します。



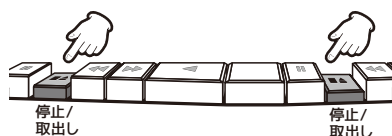
※録音をする際は、乾電池ではなくACコードのご使用をお勧めします。 ※本体の音量を変えても、録音される音の大きさは変わりません。  
※外部マイクから録音する場合は内蔵マイクからの音も同時に録音されますのでご注意ください。

### デッキⅠからデッキⅡへ録音(通常ダビング)

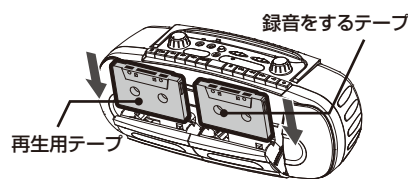
**1** 機能切替スイッチを「テープ/電源切」に合わせます。



**2** デッキⅠとⅡの停止/取出しボタンを押しカセットフタを開けます。



**3** デッキⅠ(再生用テープ)とⅡ(録音をするテープ)にカセットテープを入れます。



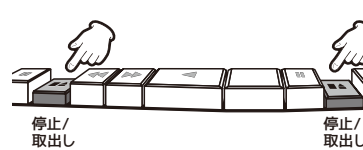
**4** デッキⅡの一時停止ボタンを押した後に録音ボタンを押し、スタンバイ状態にします。



**5** デッキⅠの再生ボタンを押すと録音が始まります。



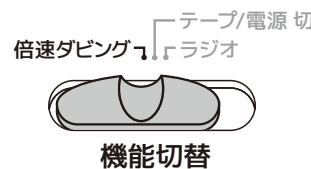
**6** 録音を止める場合は、デッキⅠとⅡの停止/取出しボタンを押します。



### デッキⅠからデッキⅡへ録音(倍速ダビング)

**1** 通常ダビングの**1**～**3**の操作を行います。

**2** 機能切替スイッチを倍速ダビングに合わせます。



**3** 通常ダビングの**4**～**6**の操作を行います。

#### 注意

※録音中に機能切替スイッチで、速度を変えないでください。  
※再生用テープが録音用テープより長い場合は、録音用テープが止まっても再生用テープは設定した速度で再生を続けます。  
※録音用テープが再生用テープより長い場合は、再生用テープが止まったら録音用テープの停止/取出しボタンを押してテープを止めてください。停止/取出しボタンを押さない場合は、テープが終わるまで録音状態となります。  
※通常速度でのダビングを推奨いたします。

## 外部マイクを使用するには デッキⅠのみ録音可能 ※デッキⅡは、対応していません。

### テープを再生しながらマイク(別売)を使うことで簡易カラオケとして使用できます。 ※ラジオでは使用できません。

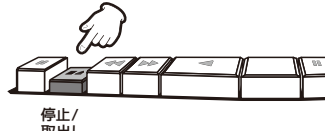
**1** 機能切替スイッチを「テープ/電源切」に合わせます。



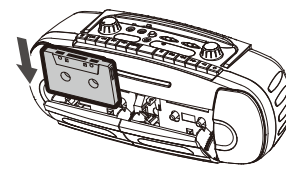
**2** マイク(別売)を外部マイク端子に差し込みます。



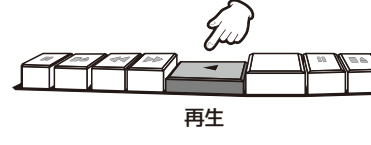
**3** デッキⅠの停止/取出しボタンを押しカセットフタを開けます。



**4** デッキⅠにカラオケ用カセットテープを入れます。



**5** デッキⅠの再生ボタンを押すとカセットテープが再生されます。



**6** 音量ダイヤルで音量を調整します。

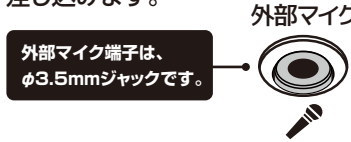


### 簡易カラオケの音を録音することができます。

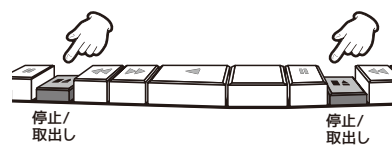
**1** 機能切替スイッチを「テープ/電源切」に合わせます。



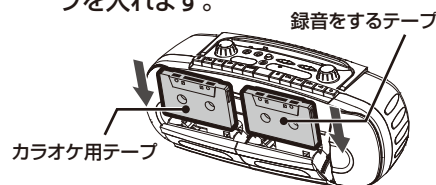
**2** マイク(別売)を外部マイク端子に差し込みます。



**3** デッキⅠとⅡの停止/取出しボタンを押しカセットフタを開けます。



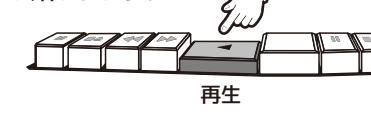
**4** デッキⅠ(カラオケ用テープ)とⅡ(録音をするテープ)にカセットテープを入れます。



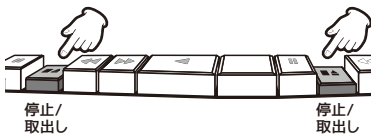
**5** デッキⅡの一時停止ボタンを押した後に録音ボタンを押し、スタンバイ状態にします。



**6** デッキⅠの再生ボタンを押すと録音が始まります。



**7** 録音を止める場合は、デッキⅠとⅡの停止/取出しボタンを押します。



※本製品には、拡声機能は付いておりません。

### 重低音ボタン

重低音



■ (入) 低音を強調します。  
■ (切) 通常に戻ります。

## 製品仕様

・FM受信周波数	76~108MHz	・電源	AC 100V 50/60Hz
・AM受信周波数	530~1600kHz	・電池持続時間	DC9V(アルカリ単1形乾電池6本使用) テープ再生時:約16時間 ラジオ受信時:約35時間 ※アルカリ単1形乾電池6本使用時(参考値)
・FMアンテナ	ロッドアンテナ	・外形寸法	約幅385×奥行き155×高さ140mm
・AMアンテナ	内蔵バーアンテナ	・重量	約2.1kg(乾電池含まず)
・トラック方式	モノラル	・付属品	ACコード、取扱説明書/保証書
・スピーカー	使用ユニット:φ76mm×2、 インピーダンス:4Ω イヤホン端子(φ3.5mm)×1	※電池持続時間はあくまでも目安であり、使用状況・環境によって異なる場合がございます。 ※製品仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。	
・出力端子	イヤホン端子(φ3.5mm)×1		
・入力端子	マイク端子モノラル(φ3.5mm)×1		
・最大出力	2W×2		
・消費電力	15W		

## 故障かな?と思った時は

製品に不具合が見られた際は、以下の点をご確認下さい。その他ご不明な点があるときは、修理受付窓口までお問い合わせください。

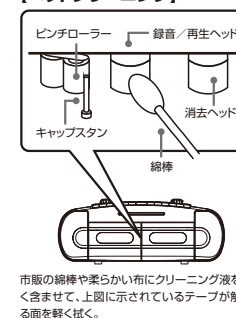
- ・音が出ない、カセットテープが回らない  
→ACコードが抜けていませんか? しっかりと差し込んでください  
→乾電池は正しい向きで入っていますか? 乾電池の向きをご確認ください  
→乾電池は消耗していませんか? 全て新しいものに交換をしてください  
→イヤホンを差したままになっていませんか? イヤホン端子からイヤホンを抜いてください  
→音量が最小になっていませんか? 音量ダイヤルをご確認ください  
→機能切替スイッチが正しい位置になっているかご確認ください

- ・カセットテープの音質が良くない  
→ヘッドが汚れていませんか?長時間使用していると、ヘッドが汚れてしまう場合がございます。ヘッドクリーニングを行ってください  
→クローム/ハイポジションテープ、メタルテープを使っていませんか?  
本機はノーマルテープ用に調節されています

- ・録音ができない  
→カセットテープの誤消去防止用ツメが折れていませんか?  
折れていないテープを使うか、穴をゼロハンテープなどで塞いでください  
→録音マイクとの距離が遠くありませんか?  
マイク録音の際は、出来るだけ録音マイクの近くで録音をしてください

- ・ラジオに雑音が入る  
→電波状態は良好ですか?  
FMの場合はロッドアンテナを、AMの場合は本体を電波状態の良い方向に向けてください  
→テレビやパソコン、電子レンジの近くでは、電磁波の影響を受けノイズが入る場合がございます

#### (ヘッドクリーニング)



市販の綿棒や柔らかい布にクリーニング液を軽く含ませて、上図に示されているテープが触れる面を軽く拭く。

STAYER お問合せ/修理受付窓口

☎ 03-5315-4565 (平日 10:00~12:00 / 13:00~17:00)

HP <http://www.stayer.co.jp> Eメール [support@stayer.co.jp](mailto:support@stayer.co.jp)

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地2 TRビル6F